



もしもに備える

# 弾道ミサイル

# 落下時の行動

## 住民避難訓練を実施



▲中央公園から市民会館へ避難する住民  
◀低い姿勢で頭部を守る態勢

近年、弾道ミサイルの発射が頻発する事態が起っています。いつ起こるか予測ができない事態に対しては、日頃からの備えが重要です。

8月31日には、国、県、勝山市、勝山警察署、元禄区の方々と共同で弾道ミサイル落下時を想定した住民避難訓練を実施しました。避難で大切なことは次の2つです。

- ①速やかな避難行動
- ②正確かつ迅速な情報収集

訓練に参加された方々は、Jアラートからサイレン音とメッセージが流れた後、迅速かつ落ち着いて避難をしていました。

訓練後に行われた講評では、国の内閣官房室から「いつ起こるかわからない大事に備え、聞きなれない音を聞いたら、すぐさま基本姿勢、迅速に建物に避難してください」との話がありました。

避難訓練に参加できなかった皆さんも、もしもの時に備え、避難行動を身に付けてください。

## 弾道ミサイルとは…

ロケットエンジンやジェットエンジンを駆使して目標に向かって飛ぶ兵器です。発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。

着弾した場合は、激しい爆風や破片などにより身体へ大きな被害をもたらす可能性があります。



防災安全専門官  
松村 孝省

国民保護訓練はなぜ、必要なのでしょう。今まさに、海外の戦地では、毎日のように、弾道ミサイル、航空機およびドローンによる攻撃を受けて民間の人びとに大きな被害が出ています。

将来、日本が他国から違法で理不尽な攻撃を受け、民間施設に被害が出る可能性も全く否定することはできません。是非、市民の皆さんも、他人事と考えずに、攻撃を受けた際の「心構え」、「攻撃を受けたことをどうやって知るか」、「自身の命を守るために、どう行動するか」について、国民保護訓練などを機会に、しっかりと学んで欲しいと思います。

参加された方は、ご家族やご近所など、周りの人たちにも広めましょう。平和な時にこそ、危機について思いをめぐらし備えをお願いします。



「ミサイル発射。ミサイル発射。ミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、または地下に避難してください」

弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合の行動

## 国から緊急情報が発令

- ◎防災行政無線から国民保護サイレンとメッセージを配信
- ◎携帯電話やスマートフォンに緊急速報メールなどを通知

## 屋外にいる場合

## 近くの建物の中か地下に避難

※できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません



## 建物が無い場合

物陰に身を隠すか  
地面に伏せて  
頭部を守る

## 屋内にいる場合

窓から離れるか  
窓のない部屋に  
移動する

## 弾道ミサイルが近くに落下した場合

## 屋外にいる場合

□と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密封性の高い屋内または風上へ避難する  
屋内にいる場合  
換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する